

クズ・木本性つる類防除剤

# ケイピンエース<sup>®</sup>

農林水産省登録第21217号

(イマザピル剤)

<ケイピンエース製品>



クズ・木本性つる類の防除に!  
木針製 除草剤

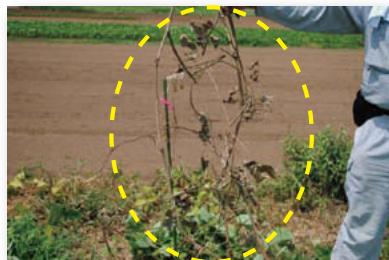
## 特長

ケイピンエースは最も難防除とされる「クズ・木本性つる類」枯殺の専用剤として開発されました。木針(楊枝状)に除草剤イマザピルを染み込ませ、特殊な製剤に加工しています。本剤の特長は次のとおりです。

- ケイピンエースを根株に施用することにより、クズ・木本性つる類全体を防除します。(遅効性)
- 対象雑草に直接処理するので周辺植物に影響はありません。
- 一年中処理ができます。ただし、根株の見つけやすい秋～春の時期に作業すると効率的です。
- 処理時に薬剤調整や水等の準備が不要で、持ち運びが便利です。



クズの根株に施用されたケイピンエース



施用25日後のクズ。  
地上部の葉が枯れています。



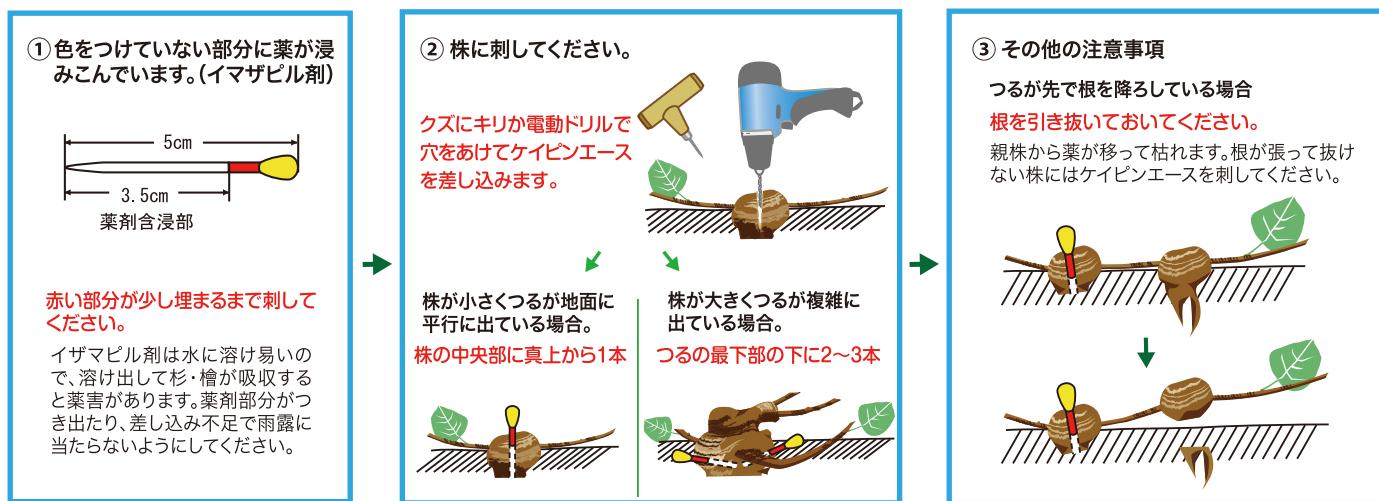
施用90日後のクズの根株。  
茎、株が腐敗しクズが枯死しています。

処理後2～4週間で葉に黄化、褐変が見られ地上部が枯死します。地下部の枯死には3ヵ月程度要します。(遅効性)

## ■ 適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	イマザピルを含む農薬の総使用回数
すぎ (下刈り代用) ひのき (下刈り代用)	—	クズ  木本性 つる類	萌芽期 ～生育期	一株当たり1～3本	—	クズの根株、又はなるべく根本に近い茎にあらかじめ本剤を差し込むために適当な穴をあけ、本剤を葉の露出部全部がかくれるように差し込むこと。	—
林木	造林地			つる径(cm) 本数(本) ～3.0 1～2 3.1～5.0 3～4 5.1～6.0 5～6 6.1以上 7～		つる類の地際に近い位置にあらかじめ本剤を差し込むために適当な穴をあけ、本剤を葉の露出部全部がかくれるように差し込むこと。	
樹木等	公園、庭園 堤とう 駐車場、道路 運動場 宅地 のり面等	クズ		一株当たり1～3本	1回	植栽地を除く樹木等の周辺地のクズの根株、又はなるべく根本に近い茎にあらかじめ本剤を差し込むために適当な穴をあけ、本剤を葉の露出部全部がかくれるように差し込むこと。	1回

## ■ ケイピンエースの正しい使用方法



### △ 効果・薬害等の注意

- 緑地管理地及び造林地(すぎ、ひのき)の下刈り代用として使用してください。
- 根株に差込むのが最も効果的です。
- つる(茎)に差込む場合は直径が1cm以上のものに限って差込んでください。但し下刈り代用の場合は直径3cm以上の株のみ処理し、つるには処理しないでください。茎葉散布剤処理後残った大株に処理するようにしてください。
- 処理後、抜けて落ちると造林木に薬害を生ずる恐れがあるので、簡単に抜けないよう適当な太さの錐などで穴を空けて差込んでください。
- 使用時期は通年でよいが、根株の見つけ易い秋～春がより効果的です。
- 薬剤が雨、雪などで流れ落ちると造林木に薬害発生の恐れがあるので、葉の露出部が全部隠れるよう差込んでください。
- 降雨、降雪中での使用は避けてください。
- 使用にあたっては、使用量、使用方法、使用条件(土壤条件など)を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は林業関係機関等の指導を受けることが望ましい。
- 処理の前後に処理株のつる切りを行うと、切口の溢泌水によって植栽木に薬害を生ずることがあるので注意してください。

### △ 安全使用上の注意

- 使用の際は不浸透性手袋などを着用してください。
- かぶれやすい体质の人は取扱いに十分注意してください。
- 公園、堤とうなどで使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らせないでください。小児、人畜等に留意してください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。

保管:食品と区別し、密封して直射日光を避け、子供の手のとどかない冷涼・乾燥した所に保管してください。

★空袋等は放置せず、環境に影響を与えないよう、適切に処理してください。

★使用前にはラベルをよく読んでください。 ★ラベルの記載以外には使用しないでください。 ★本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

